

用 地 課

用 地 係

## 用 地 係

国土庁が発表した地価公示によると、年間における市内の標準地の地価変動率は、平均2.20%の減少になった。

これは、日本経済の低成長期が続き、金融機関における融資の規制が厳しくなり投機目的の土地取引が減少している結果と思われる。

昨年と比べて、地価変動率（下落）は少し落ち着いて来たが、商業地については依然として地価下落が続いているのが現状である。

しかし、住宅地については住宅取得促進により低金利政策が取られているため、マンション用地等の取得が徐々に活発になって来ている。

公共事業を円滑に推進していくためには、その事業に必要な用地を迅速かつ確実に確保して行かなければならないが、地価は一時期よりは低くなったが、依然として高値にあるため、積極的に土地を売る気配がなく、たとえ公共事業であってもメリットがない場合には、売り惜しみの傾向が出て来ている。

このような状況の中で、本年度は熊川緑地（仮称）新設事業用地、牛一公園（仮称）新設事業用地、フレンドシップ広場公園（仮称）新設事業用地、牛浜駅西口自転車駐車場（仮称）整備事業用地のほか道路用地等を取得した。

名 称	買 収				物件等補償		備 考
	所有者数	筆数	面 積	金 額	所有者数	金 額	
熊川緑地(仮称) 新 設 事 業	人 1	筆 1	㎡ 224.95	円 78,054,901	人	円	公社より買 い戻し
牛一公園(仮称) 新 設 事 業	1	2	805.57	302,026,150			〃
フレンドシップ広場公園 (仮称)新設事業	1	2	363.68	185,591,706			〃
牛浜駅西口自転車 駐 車 場(仮称)新設事業	1	3	809.91	306,198,166			〃
市 道 第 7 号 線 拡 幅 整 備 事 業	2	2	16.60	1,556,029			市道改良事業 (狭あい道路分)
市 道 第 2 3 4 号 線 拡 幅 整 備 事 業	3	3	41.87	3,528,725	1	505,615	〃
市 道 第 6 号 線 拡 幅 整 備 事 業	1	1	17.48	2,202,005			〃
市 道 第 1 7 4 号 線 拡 幅 整 備 事 業	1	2	42.00	3,749,726			〃
市 道 第 2 5 0 号 線 拡 幅 整 備 事 業	1	2	21.99	2,494,622			〃
市道第165・279号線 拡 幅 整 備 事 業	1	1	13.07	1,595,470			〃
市 道 第 1 6 6 号 線 拡 幅 整 備 事 業	1	1	13.69	778,277			〃
市 道 第 1 1 8 4 号 線 拡 幅 整 備 事 業	1	1	5.04	1,081,647			〃
市 道 第 1 6 5 号 線 拡 幅 整 備 事 業	1	1	9.00	511,650	2	1,431,697	〃
市 道 第 2 3 1 号 線 拡 幅 整 備 事 業	12	15	130.61	21,727,159	1	543,500	〃
市 道 第 1 0 0 2 号 線 拡 幅 整 備 事 業	14	21	68.40	5,023,881	8	4,433,119	〃
市 道 第 1 0 5 3 号 線 拡 幅 整 備 事 業					1	55,620	〃
市 道 第 1 1 0 8 号 線 拡 幅 整 備 事 業					1	1,509,609	〃
市道幹線Ⅱ-13号線 拡 幅 整 備 事 業					1	145,848	〃
市道幹線Ⅱ-5号線 拡 幅 整 備 事 業	5	8	250.27	145,214,690	8	45,727,987	幹Ⅱ-5
合 計	47	66	2,834.13	1,061,334,804	23	54,352,995	